



2 学習状況の調査

※全国・県と比べ、結果の差が見られるものを抜粋。数値は回答率(%)「↑」は、県平均を上回ったもの

(1) 小学校調査 (4段階評価の中で最も肯定的「当てはまる」と回答した割合)

	大崎町	県	全国
「家の人と学校での出来事について話をする」と答えた児童	82.0 ↑	74.0	68.2
「将来の夢や目標をもっている」と答えた児童	75.7 ↑	71.8	65.9
「先生は、分かるまで教えてくれる」と答えた児童	69.4 ↑	63.6	59.5
「人が困っているときは進んで助ける」と答えた児童	51.4 ↑	39.9	40.4
「朝食を毎日食べている」と答えた児童	82.0	85.9	86.7
「自分にはよいところがある」と答えた児童	29.7	33.0	38.8

(2) 中学校調査 (4段階評価の中で最も肯定的「当てはまる」と回答した割合)

	大崎町	県	全国
「いじめは、どんな理由があってもよくない」と答えた生徒	89.4 ↑	81.5	78.3
「将来の夢や目標をもっている」と答えた生徒	58.5 ↑	48.4	44.9
「学級みんなで話し合っ決めて決めたことに協力して取り組み、うれしかったことがある」と答えた生徒	56.4 ↑	44.4	45.4
「先生は、分かるまで教えてくれる」と答えた生徒	50.0 ↑	37.0	37.3
「朝食を毎日食べている」と答えた生徒	80.9	84.6	82.3
「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日の勉強が2時間以上」と答えた生徒	28.7	36.4	35.5

(3) 【学習状況調査結果考察】

「将来の夢や目標をもっている」「家の人と学校での出来事について話をする」「学級みんなで話し合っ決めて決めたことに協力して取り組み、うれしかったことがある」といった小・中学生の回答が、県や全国と比べて高く、大崎の子どもたちが家族と学級の仲間たちとコミュニケーションを図りながら、自分の目標に向かって努力をしている姿が伺えます。また、学習では小学生とも学んだことを先生から分かるまで教えてもらいながら、授業や家庭学習で、学びを深めていることも伺えます。

一方、小・中学生とも「朝食を毎日食べている」という回答が、低くなっています。小学生においては「自己肯定感」の低さが目立ちます。毎日の生活で子どもとしっかり向き合い、頑張りを褒め、子どもが次の日に元気で過ごせるように声かけをお願いします。

また、中学生については、2時間以上の家庭学習をする生徒が3割未満となっています。中学校の学習は、小学校と比較して学習内容が広く深くなります。したがって、学びを支えるためには、学校の授業の他、家庭学習が一層重要な役割を占めてきます。家での時間の使い方を工夫し、家庭学習の時間を確実に取り、習慣化を図ることが必要です。

子どもたちの夢実現に向け、家庭での生活環境を見直し、頑張りを励ますことが、よりよい成長につながると考えます。今後も見守りと見届けをよろしくをお願いします。

「早寝・早起き・朝ごはん」は、パワーチャージのための必須アイテムです！

学力を伸ばすには、学校の授業のほか、家庭学習習慣の定着が不可欠です！